

令和8年度学校説明会 質問内容	回答
生徒会選挙のシステムについて知りたい。	生徒会役員選挙は、1年間に前期・後期の2回実施しています。生徒会会長1名、役員5名を募集し、選挙活動・立会演説会を経て、生徒の投票で選出しています。
・土日と長期休暇の活動(補習などの学習、課外活動の有無) ・自習目的での学校施設の開放状況	・土日と長期休暇中の活動として、補習は行っておりません。課外活動については、学期中の平日3日間(火・水・金曜)のみ行っています。長期休業中においては、課外活動の一環として、光GO成や刈高祭の準備で登校し、活動することはあります。その他、外部機関との連携の中で、希望者を対象に、土日に活動することもあります。令和8年度においては、トヨタ自動車主催の「自動運転ミニカー講座」、愛知県教育委員会主催の「科学の甲子園ジュニア」への出場などは、土日に活動しました。 ・学校施設の開放状況は、学期中の課外活動や長期休業中の光GO!成において、自主学習や探究学習を目的として、教室等を開放しています。
特活とはどのような授業内容ですか。	特別活動では、基本的には、学級活動、生徒会活動、学校(学年)行事及びその準備・振り返り等を行っています。
・生徒は各分野、多岐に渡る、自分の研究テーマを持って日々過ごしていると感じました。ホームページより、多くの企業に見学に行く様子を拝見しましたが、生徒のテーマとは必ずしもリンクしていないように感じました。教員は個々の生徒へテーマを持たせるための手立て、または、ブラッシュアップさせるための手立てがありますか？または、そこは生徒自身、または家庭に委ねられるのでしょうか？ ・高2で探究系を選択の場合、内部進学、高校で進学した者、どちらも希望が通りますか？また、現在探究系選択の高校生は何割ほどいますか？ ・六年間の探究ストーリーについて、刈谷中学の生徒が刈谷高校に進学したとき、刈谷中学の生徒のみが、課題研究をしたり、発表をしたり、高校から入学した者とは違った研究活動をするのでしょうか？	・基本的には、生徒の興味・関心のある内容において、探究を進めていきます。教員は、調べてもすぐに答えがでない問いや、多様な情報収集を可能とする問いに近づくよう、生徒に寄り添い支援していますが、最終的に探究を始めるための問いを決定するのは生徒自身です。 ・高校の探究系への進級については、高校1年次に希望調査を行い、本人の希望に応じて、選択し可能になります。令和8年度現在の探究系の在籍人数は、高校3年生は15名、高校2年生は28名です。 ・附属中学校の生徒が、高校に内進する令和10年度以降の高校のカリキュラムについては、現在検討しています。内進生と高入生が、ともに成長できるよう、検討しています。
一点、探究活動に対する先生方のサポート体制についてお聞きしたいです。生徒の自主性が重視されつつも、やはり所要所要での先生によるご指導は必要になるかと思えます。子どもが探求の中で行き詰まったり、よりテーマを掘り下げていったりするために個別に確認し、アドバイスするような機会はあるのでしょうか。総合的な学習の時間に、担任の先生や教科担任の先生方などはどのような関わりをされていますでしょうか。	令和8年度においては、1年生の総合的な学習の時間に7名の担当教員、2年生の総合的な学習の時間に8名の担当教員が関わっています。生徒が課題を設定する場面、情報収集の仕方を検討する場面、整理や分析を行う場面で、担当教員は、生徒に寄り添い支援しています。ただし、令和9年度以降の体制については、附属中学校が3学年になることから、同様の体制を維持できる保証はありません。しかし、それぞれの学年に担当教員を設け、きめ細やかな支援体制を整えていきたいと考えています。また、令和8年度の2年生においては、一般社団法人MEDARとの連携により、オンライン相談会等を実施いただき、大学生や大学院生との探究に関わる個別相談の機会も設けています。
高校での外部受験生との合同での組編成を決定されたが、現状受験生は基礎学力重視の優等生達が入ってくると思います。合同編成に不安視はないのでしょうか？	附属中学校の生徒が、高校に内進する令和10年度以降の高校のカリキュラムについては、現在検討しています。内進生と高入生が、ともに成長できるよう、検討しています。
一貫校を目指すということは高校教育まで理解したうえでの選択となると思います。刈谷高校の学生さんの進学先(大学名ではなく学部)を知りたいです。刈谷中学、高校での学習が将来どのような専門性に発展していくのか教えて下さい。	刈谷高校のWebページにおいて、令和8年度学校案内を公開しています。学校案内の4ページ目に、大学合格一覧を記載しています。公表している情報は、記載している情報のみです。また、大学受験は、高校卒業後の選択肢の一つです。中高一貫校の6年間で、広い視野で将来を考え、社会で活躍できるチェンジ・メーカーの育成を目指します。
授業風景のスライドを見て、1人1台ノートパソコンを使用していたが、入学時に購入しなければいけないのですか？子供が普段パソコンを使用することがほほなのですが、そのような生徒で大丈夫でしょうか？	令和8年度の入学生においては、全ての生徒に、学習用タブレット端末と充電器の貸出を行っています。令和9年度以降の方針は示されておりません。また、本校では、教科等の学習において、タブレット端末を使用することが多いです。
・PowerPointページ12の青文字部内容は、赤文字の授業数増加のような増加をせずに工夫をされていると受け取りましたが、具体的にどのような配慮をされていますか。 ・光GO成の開講内容は、どのように決められていますか。	・青文字部分の内容(探究活動の充実、国際交流事業の推進など)において、増加した授業時間も活用して実施しています。また、英語の授業では、カリキュラムを調整して、国際交流の時間を確保しています。また、各教科の担当教員は、本校の教育方針の具現化を目指し、指導計画を工夫しています。 ・光GO!成の講座内容は、その都度、本校の職員で検討して決めています。
・説明会の中で、2・3年生や高校生と合同で行う授業や行事があることは分かりましたが、学年を超えて、生徒同士がより気軽に会話したり、交流したりできる機会はあるのでしょうか？ ・校内で行う探究学習は、基本的に個人で取り組むよりも、グループで取り組む機会の方が多いのでしょうか？ ・タブレットで探究活動に関わる資料作成などに取り組むことも多いのかと思いますが、下校後にタブレットを持ち帰り、資料作成等を行うことは認められているのでしょうか？	・現在、中学1年生と2年生が在籍しています。教科学習や総合的な学習の時間の成果発表の場面、委員会活動や学校行事等で、他学年との交流機会を位置付けています。 ・校内で行う探究学習は、個人で取り組む場面も、グループで取り組む場面も、どちらも存在します。総合的な学習の時間において、現在は、1年生がグループで実施し、2年生が個人で実施しています。 ・タブレットについては、原則、持ち帰りとしているため、家庭に持ち帰り資料作成等を行うことは可能です。
合格した後、3月初旬に、入学説明会とかありますか？	令和8年度においては、令和9年2月13日(土)に合格者登校日を実施する予定です。合格者登校日において、入学に向けた説明をさせていただきます。
・課外活動について、①②③は必ず選択するのでしょうか。いわゆる帰宅部のような何もせずに帰宅するケースもあるのでしょうか。 また、③を希望した場合、1つの部に固定なのか、日によって参加する部を変えられるのかが知りたいです。	・課外活動は希望性であり、在校生の中には、参加せずに帰宅する生徒もいます。部活動体験において、1年を前期・後期に分けており、基本的には前期で1つの部活動体験を登録する形になっています。体験できる部活動ごとに実施曜日が決まっており、曜日が重ならなければ、複数の部活動体験に登録することは可能です。
ラーケーションの日の利用について刈谷高等学校と同等と考えて良いのでしょうか？	ラーケーションについて、最大3日間まで取得できることに関しては、中高で同様ですが、ラーケーションを活用できる日については、中高で異なります。定期考査や学校行事等で、ラーケーションを利用できない日を、中高それぞれの予定に合わせて設定しています。
・今後、中学生のみでの部活動が始まる可能性はありますか。また、部活動がないことに関して、その背景や理由があれば、教えてください。 ・高校の探究系について、具体的にどのような進路実績がありますか。	・中学生のみで部活動は実施する予定はありません。本校では、課外活動(自主学習、探究学習、部活動体験)として実施することで、主体的に自分の時間を管理し、興味関心のあることについて追究したり、学級や学年、校種を超えて交流することで、コミュニケーション力の向上を目的としています。探究学習重視型の学校であることを踏まえ、部活動としての実施ではなく、課外学習としての実施を、学校の特色の一つとしています。 ・刈谷高校のWebページにおいて、令和8年度学校案内が公開されており、大学合格一覧を記載しています。高校の探究系の進路実績については、探究系のみを取り出して公表はしていませんが、文系・理系と遜色ない合格実績を挙げています。
給食はあっても購買が使えるかどうか	中学生は、給食を実施しているため、基本的には購買の使用を認めていません。なお、刈高祭当日については、中学生においても購買の利用を認めています。
外部講師はどのような方に来て頂き、授業内容について知りたいです。年間何回あるのかを知りたいです	外部講師については、年度ごとに異なります。令和8年度の4月から8月までの期間においては、4月のトヨタ自動車「自動運転ミニカー講座」の紹介、5月の「南極教室」、6月の「サイエンスデー」及び「スマホネット教室」、7月の「子どもの意見徴収」及び「光GO!成Week」など、外部講師を活用した取組を行いました。
確認ですが、時間割の朝の会スタートの表示通り、朝は8時35分に登校していれば、よろしいでしょうか。	朝は8時35分までに教室に入るように指導しています。
まだ2年目なので、内進生が高校へ進学した後のことはわからないとは思いますが、学力的にはどのような成績を取るだろうなど予想はありますか？	本校では、中高一貫校の6年間で、広い視野で将来を考え、社会で活躍できるチェンジ・メーカーの育成を目指しています。 また、探究的な学習は、生徒の主体性を育みます。主体的に取組むことで、生徒の学びは深まり、それに伴い知識や技能の習得や思考力等の育成につながるかと考えており、結果的に学力向上が期待できると考えています。
写真で教室の様子があったが実際に教室を見学してみたかったです。	本校は、刈高祭(文化祭)を一般公開しています。教室見学については、刈高祭当日に本校にお越しいただき、ご覧ください。